

氏名	小 野 波津子
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1792 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和62年 6 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	アレルギーにおける heparin の役割に関する研究 第 1 編 即時型アレルギー反応における heparin の作用機序に関する研究 第 2 編 気管支喘息における血漿 heparin に関する研究 第 3 編 気管支喘息における heparin 療法
論 文 審 査 委 員	教授 太田善介 教授 佐伯清美 教授 辻 孝夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

即時型アレルギー反応の際、他の chemical mediator と共に放出される heparin が、アレルギー反応に如何に関与しているか研究する目的で種々の動物実験を行い、アレルギー疾患である気管支喘息における血漿 heparin の動態、heparin 療法の臨床的評価を通して、本症の病態における heparin の役割について検討した。

第 1 編 即時型アレルギー反応の種々相として動物実験で皮膚反応、気管支反応、PCA、腸間膜肥満細胞脱顆粒に対する heparin の影響を検討し、heparin がある程度反応抑制的に作用することを示した。

第 2 編 気管支喘息患者における血漿 heparin 濃度、静脈内投与 heparin の血漿濃度の推移を観察し、血漿 heparin 代謝が、その病態と関連して変化していることを示した。すなわち、好塩基球数と正の相関をなし、喘息発作において、血漿 heparin 代謝が亢進していることが示唆された。

第 3 編 気管支喘息患者に heparin 療法を行い、その有効性を認めた。

以上より、heparin がアレルギー反応において反応抑制的に働き、生体反応を制御するために用意されているものである可能性が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は即時型アレルギー反応の際、他の chemical mediator と共に放出される hepa-

rinが、アレルギー反応に如何に関与しているか研究する目的で種々の動物実験を行い、その結果即時型アレルギー反応の種々相の動物実験で heparin がある程度反応抑制的に作用することを示し、喘息発作において、血漿 heparin 代謝が亢進していることを示唆し、さらに気管支喘息患者に heparin療法を行い、その有効性を認めた。

以上により、heparin がアレルギー反応において反応抑制的に働き、生体反応を制御するために用意されているものである可能性を示唆した有意義な研究である。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。